

支援機関マップについての御意見等

機関・団体名	御意見等
新潟少年鑑別所	1 記載内容について ・「機関紹介」を項目に加える。(例えば、非行関係の相談を受けている機関はいくつもあるが、その機関の本務や役割が何であるかに関する情報があつた方が、どの機関に相談を依頼するかを選択するのに役立つので) ・「体制」については、職員数を記載するための不動文字は入れずに、実際に支援に携わる職員がどのような資格やバックグラウンドを有しているか等について自由に記載してもらおう。(職員数を記載しても、その機関の全職員が支援に携わるとは限らないので。) ・「最寄駅／バス停等」を「交通手段」とし、利用しやすい交通機関について、公共交通機関を利用する場合と、自家用車利用の場合の両方について記載してもらおう。(最寄駅やバス停は、実際には列車やバスの本数が少なくて利用しにくい場合があるので。) 2 活用方法について ・冊子にして、市の関係機関、学校、病院等幅広く配付する。 ・インターネット上に掲載する。
新潟県立 月ヶ岡養護学校	当校でも「地域情報誌」や休業中に利用できるサービスの一覧表を配布しているが、なかなか周知されない(利用もされない)。必要と思われる人に必要な情報だけを提供すればよいのかと考えたりもしている。
私立保育園連盟 連絡協議会	相談したい内容等をよく理解でき、良かったと思う。
三条市手をつなぐ 育成会	・自立支援協議会(連絡調整会議)発行「相談支援マップ」及び三条市福祉保健部福祉課発行「障がい福祉制度のご案内」等の発行済案内と重複しない、統括的マップを作成するのが必要。 ・例えば、発行済マップに三条市子ども・若者サポート部門を追加して、三条市総合福祉マップ的なものを考える。

その他

機関・団体名	御意見等
新潟県弁護士会	当会は、児童虐待防止のために、具体的・実践的なネットワークづくりをしていきたいと考えている。児童虐待の背景の一因である親の経済的困窮、家族関係の不和等について、法的支援により解決できる場合が多く、関係者の連携により、虐待を未然に防ぐことが出来るのではないかと。児童相談所はもとより、民生委員児童委員の皆様など、幅広く、顔の見えるつながりができることを強く希望している。

